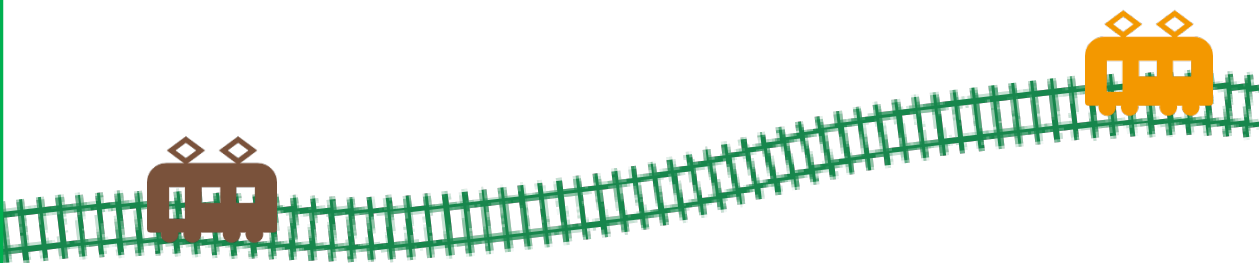




幌西地区連合町内会設立 50 周年記念

幌西の未来につなげる まちづくりビジョン



令和 4 年 5 月

幌西地区連合町内会

目次



1. はじめに	1
2. 「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」について	2
(1) 「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」とは	
(2) ビジョンの策定経緯	
3. 幌西地区と幌西地区連合町内会のあらまし	3
(1) 幌西地区の成り立ち	
(2) 幌西地区の現状	
(3) 幌西地区の人口と年齢構成	
(4) 幌西地区連合町内会の体制	
(5) 幌西地区連合町内会の主なまちづくり活動	
4. 「幌西の未来につなげるワークショップ」の主な意見	8
(1) 幌西地区の「良いところ」や「魅力」	
(2) 幌西地区の「気になるところ」	
(3) 幌西の未来につながる「5つのキーワード」	
5. 幌西地区の未来像と未来につなげる5つの目標	11
(1) 幌西地区の未来像と未来につなげる5つの目標	
(2) 5つの目標の考え方とまちづくりのアイデア	
6. ビジョンを実現するためのつながりづくり	14
資料編. 「幌西の未来につなげるワークショップ」各回の主な意見	15
第1回 意見交換会「話そう！幌西地区の思い出・いま・未来」	
第2回 意見交換会「語ろう！50周年から始まる幌西の未来につなげる取り組みアイデア」	
第3回 意見交換会「創ろう！幌西の未来につながる企画案」	

1 はじめに

この「ビジョン」は私たち幌西地区連合町内会一同から地域の皆さまと、幌西地区の未来に向けたお便りです。ご一読いただけたら、とても嬉しいです。

私たち幌西地区連合町内会は令和4年度で設立50周年を迎えます。この節目にあたり、これまで同様「50周年記念事業」の実施を検討していましたが、ふと「それで良いのだろうか？」と悩むようになりました。

幌西地区は交通などの利便性が良く、教育環境にも恵まれ、若い世代・子どもたちも多く暮らし、きれいな街並みとにぎわい、地縁の深さが共存するまちです。私たちはそんな幌西地区が大好きで、これからも住みやすく、過ごしやすいまちが続いてくれたらと願っています。

そのためには「50周年記念事業」を町内会が行うセレモニーではなく、幌西に住む皆さまとまちを一緒に楽しみ、考える場をもつきっかけとすることが大切だと考えるようになりました。

そこで令和3年11月から、幌西地区に住む・働く方約30名にご協力いただき、「50周年から始まる取り組みアイデア」を考える「幌西の未来につなげるワークショップ」を開催しました。

このワークショップでは、アイデアに留まらず、幌西をより住み良く過ごしやすいまちにしていく目標となるようなご意見が数多く出されたことから、このご意見をとりまとめ、今後、幌西地区連合町内会がまちづくり活動を行う上での指針として「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」を策定しました。

近年は町内会活動への参加者が減少し、取り組みを担う方々の高齢化も進んでいます。

このビジョンをきっかけとして地域の皆さまと一緒に「これからも住み続けたいまち・幌西づくり」を目指していくことが私たちの願いです。令和4年度からは、このビジョンを元にした取り組みの検討・企画づくりをスタートしてまいります。より多くの方に関心を寄せていただき、ご参加をいただけたら幸いです。



幌西地区連合町内会会長
土井 清純

2 「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」について

(1) 「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」とは

このビジョンは、私たち幌西地区連合町内会において、まちづくり活動を行う上での指針となるものです。

(2) ビジョンの策定経緯

このビジョンは幌西地区連合町内会が行った、幌西地区に住む・働く方による「幌西の未来につなげるワークショップ」で寄せられたご意見を元に策定しました。

第1回意見交換会 令和3（2021）年11月29日（月）18:30～20:30

- テーマ「話そう！幌西地区の思い出・いま・未来」
- 成果：幌西まちづくりの未来につながる5つのキーワード

第2回意見交換会 令和4（2022）年1月19日（水）18:30～20:30

- テーマ「語ろう！50周年から始まる幌西の未来につながる
取り組みアイデア」
- 成果：5つのキーワードを元にした取り組みアイデア

第3回意見交換会 令和4（2022）年3月4日（金）18:30～20:30

- テーマ「創ろう！幌西の未来につながる企画案」
- 成果：取り組みアイデアを深めた企画案

ビジョンの検討、とりまとめ

幌西の未来につなげるまちづくりビジョン策定



3 幌西地区と幌西地区連合町内会のあらまし

(1) 幌西地区の成り立ち

幌西地区は屯田兵による農地の開墾に始まり、明治から昭和初期にかけて札幌市の一大野菜供給地として発展。町内には果樹園や牧場もありました。

現在のような宅地化が進んだのは昭和20年代後半ごろでした。

幌西地区連合町内会が設立されたのは札幌市が政令指定都市となり、オリンピックが開催された昭和47（1972）年。令和4年度で50周年を迎えます。

■昭和初期、円山山頂から幌西地区を望む



■幌西地区年表／主なできごと

年	主なできごと
明治 4(1871)	佐藤三蔵さんが山形県から入植。幌西地区には 40 戸
明治 7(1874)	山鼻村設立
明治 9(1876)	屯田兵入植、農地を開墾
明治 40(1907)	伏見稲荷神社を琴似村より現在地に遷宮（以降、藻岩山ろくを伏見と呼称）
大正 11(1922)	札幌市制施行
昭和 6(1931)	市電山鼻西線開通(単線:南1西14～南19西15)
昭和 7(1932)	市営バス地区内運行開始
昭和 16(1941)	円山町が札幌市に合併
昭和 26(1951)	市電全線が複線化
昭和 20 年代後半	宅地化が進展
昭和 45(1970)	札幌市の人口が 100 万人を突破
昭和 47(1972)	札幌市政令指定都市化。市が幌西地区連絡所を設置(現・まちづくりセンター)
昭和 47(1972)	幌西地区連合町内会の設立
平成 16(2016)	幌西連絡所が幌西まちづくりセンターに改編

(2) 幌西地区の現状

幌西地区は中央区のほぼ真ん中に位置し、北東はすすきの繁華街と隣接し、南は藻岩山、西は円山などの山並みが連なる緑豊かなエリアに接しています。

地区内には札幌市電複線が通り、まちなかのにぎわいを味わえるとともに、閑静な住宅街でもあることが特徴です。

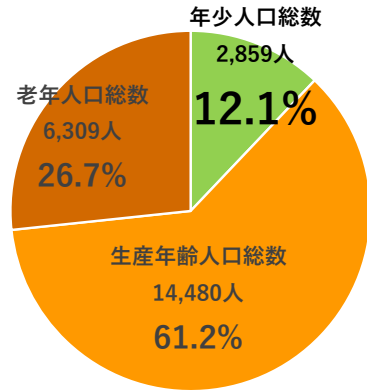
古くからの地縁が豊かなまちであり、かつ教育施設・環境が充実していることから、子ども・子育て世代が多く暮らすまちでもあります。



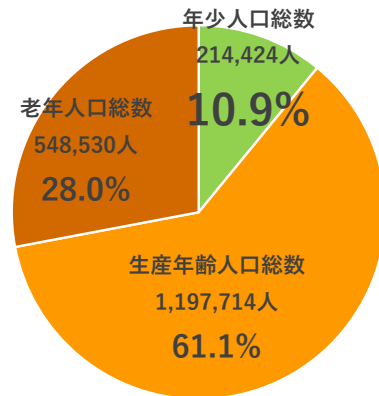
(3) 幌西地区の人口と年齢構成

幌西地区の人口は23,648人、世帯数は12,486世帯となっています。年代で見ると、幌西地区は札幌市全体と比べて、**年少人口（0～15歳）割合が高く、老年人口（65歳以上）割合の低いこと**が特徴です。

■幌西地区の年齢別人口比



■札幌市全体の年齢別人口比

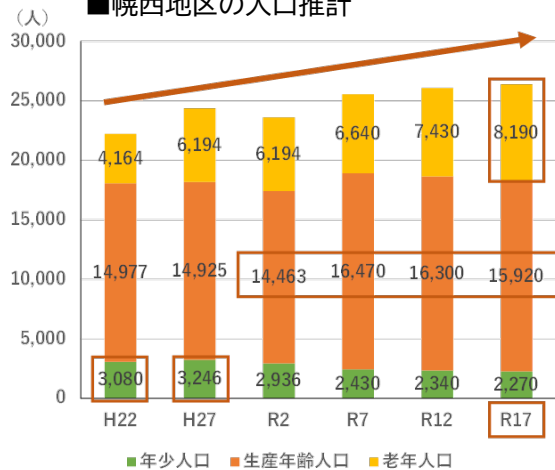


(令和4〔2022〕年1月1日住民基本台帳)

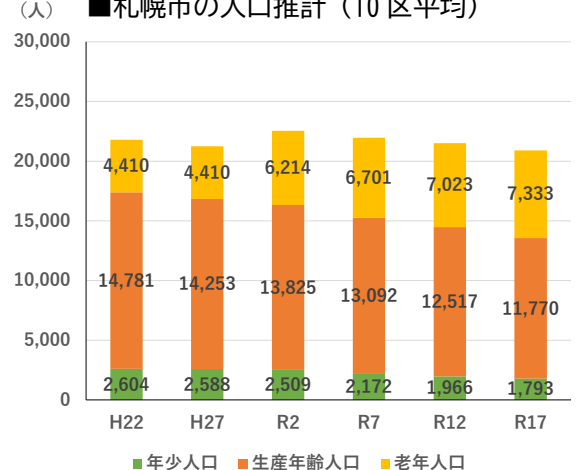
幌西地区の人口の移り変わりを見ると、札幌市全体と比して**ゆるやかな人口増加傾向**が続いていきます。**高齢化は比較的ゆるやか**で、令和17（2035）年で初めて老年人口が3割を超えます。

また、年少人口の多さから**生産年齢人口（16～64歳）も概ね横ばい**となり、幌西地区は「**世代の層の厚さ**」が**比較的長く続く**ことが特徴となっています。

■幌西地区の人口推計



■札幌市の人口推計（10区平均）



(平成22〔2010〕年国勢調査からの推計値)

●参考●

株式会社リクルート住まいカンパニーが札幌市居住者に向けて行ったWEBアンケート「SUUMO住んでいる街実感調査2020札幌市版」（有効回答数3,386人）では幌西地区市電駅周辺が「住民に愛されているまち」、「教育環境が充実しているまち」として高く評価されています。

■「住民に愛されているまち」ランキング

順位	駅名 (代表的な沿線)	平均 評価点	偏差値
1位	静修学園前(札幌市電)	4.400	78.37
2位	円山公園(地下鉄東西線)	4.286	70.98
3位	西線9条旭山公園通(札幌市電)	4.278	70.44
4位	西18丁目(地下鉄東西線)	4.216	66.40
5位	西線14条(札幌市電)	4.212	66.18
6位	バスセンター前(地下鉄東西線)	4.200	65.39
7位	西28丁目(地下鉄東西線)	4.197	65.17
8位	西15丁目(札幌市電)	4.195	65.07
9位	東本願寺前(札幌市電)	4.167	63.23
10位	西線6条(札幌市電)	4.155	62.48

■「教育環境が充実しているまち」ランキング

順位	駅名 (代表的な沿線名)	偏差値
1位	あいの里教育大(JR札沼線)	72.38
2位	円山公園(地下鉄東西線)	71.83
3位	西線16条(札幌市電)	71.20
4位	中央図書館前(札幌市電)	66.86
5位	西28丁目(地下鉄東西線)	64.06
5位	西線9条旭山公園通(札幌市電)	64.06
7位	西線11条(札幌市電)	63.52
8位	上野幌(JR千歳線)	63.33
9位	静修学園前(札幌市電)	62.95
10位	森林公園(JR函館本線)	62.68

*その他、評価が高かった項目

- 魅力的な人たちと出会える
- 徒歩や自転車で移動しやすい
- 住宅街や並木、通りが整然としている
- 地域の見守りがしっかりしている
- 病院等が充実している
- カルチャーを感じる店がある
- 文化的な施設が充実している
- 多様な建物や景観がこちよ
- 防災対策がしっかりしている
- 地域の人たちがその街のことを好きそう

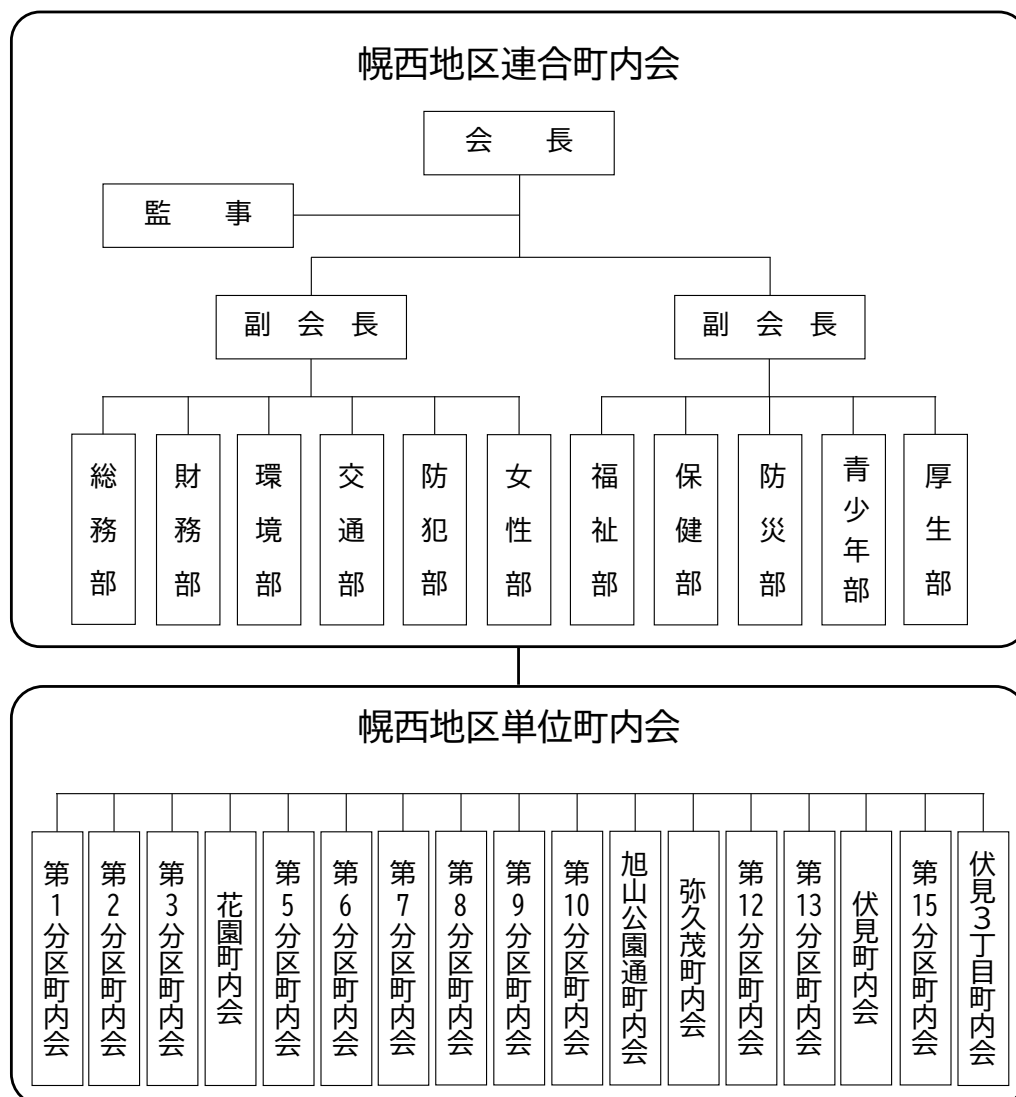
(出典：「SUUMO 住んでいる街 実感調査 2020 札幌市版」)



ワークショップでも、幌西が好き・幌西は暮らしやすいという意見が多く出されましたが、不動産関連会社の調査においても、評価が高いことがわかりました。

(4) 幌西地区連合町内会の体制

幌西地区連合町内会は昭和47（1972）年4月1日に設立されました。地区内の17単位町内会によって構成され、運営は11の部で分担して行っています。



(5) 幌西地区連合町内会の主なまちづくり活動

幌西地区連合町内会では人のつながりを大切にし、住み良いまちづくりを進めるため、「安心安全、環境のきれいなまちづくり」「子ども・高齢者の見守り・健康づくり」「お祭り・運動会等の地域の交流」に力を入れてきました。

①安心安全まちづくり

- 交通安全街頭啓発（4・7・9月）
- 防災体験in幌西小（7月）
- 防犯・防火パトロール（7・12月）
- 防火花火のタベin自転車公園（8月）
- 交通安全啓発誌「ほっと」発行（8・3月）
- 秋の地域安全街頭啓発（10月）
- 防災・防犯合同研修会（12月）
- 応急手当訓練（2月）



▲防災体験 in 幌西小

②健康づくり・高齢者の見守り

- 健康づくり教室（6・10月）
- ウォーキング（6月）
- お一人暮らしの方への支援事業（6月）
- 健康体操「ふまねっと」（7・9・2月）
- ふれあいの集い（7月）
- ラジオ体操（8月）
旭山ちびっこ公園/幌西小グラウンド/ハイヤー会館/
西屯田通公園/ハローワーク札幌/自転車公園
- パークゴルフ大会（9月）



▲健康体操「ふまねっと」

③環境整備・美化

- 花苗づくり講習会（4月）
- 花香るまち幌西事業（4月）
- 歩道美化（ます花壇制作）事業（4月）
- 中央区道路環境美化活動（4月）



▲花苗づくり講習会

④子どもの見守り・子育て支援

- 自転車交通安全教室（5月）
- 子ども110番の家支援事業（7月）
- 子どもを見守る地域の集い（10月）
- 子どもインドア雪合戦大会（12月）
- 新年子どもの集い（1月）



▲子どもインドア雪合戦大会

⑤お祭り・運動会・伝統行事など

- 子ども神輿（6月）
- 幌西夏まつり（7月）
- 連町大運動会（8月）
- 地区盆踊り大会（8月）
自転車公園・伏見稲荷神社・ハイヤー会館・伏見公園
- 子どもすもう大会（9月）
- 新年交礼会（1月）



▲子ども神輿

4 「幌西の未来につなげるワークショップ」の主な意見

「幌西の未来につなげるワークショップ」では、参加者全員が幌西地区の「良いところ」「気になるところ」について意見交換を行い、理解し合ったのち「10年後も住みたい・過ごしたいまち」のイメージについて意見を出し合いました。

このイメージを整理すると「幌西の未来につながる5つのキーワード」が浮かびあがりました。

(1) 幌西地区の「良いところ」や「魅力」

市電が通り、周辺にお店がある、利便性と魅力のあるまち

- 昔ながらのお店や食パン専門店、チキン専門店…などさまざまな店舗がある
- 市電があって便利なまち
- 自転車や徒歩でも移動しやすいまち

街並みがきれいで、閑静なまち

- 歩いていても「住みやすそう」と感じられるまち
- 個性的な住宅が多く、植木や庭・菜園が楽しめるまち
- 街路樹や公園の多いまち
- 静かで落ち着いているまち

子育ての環境が良く、子どもが見守られているまち

- 自分から挨拶をしてくれる、のびのびとした子どもが多いまち
- 子育ての施設・環境に恵まれているまち
- 地域の人子どもを見守ってくれているまち

新たな人や変化を受け入れる包容力のあるまち

- 挨拶や声を掛けてくれる人が多く、受け入れられていると感じられるまち
- 活動的な人が多く、挨拶や声を掛けてくれる人が多いまち
- 変化を受け入れられる包容力のある、これからもっと良くなっていくまち

人のつながりが豊かで、まちづくり活動が活発なまち

- 地縁のつながりが深く、町内会活動が活発なまち
- 札幌まつりの祭典区がある、伝統を受け継いでいくまち
- まちの盆踊りや、大運動会、健康づくりを通じた交流でつながるまち

安心、安全に暮らせるまち

- まちづくり活動が充実。治安も良く、安心して住むことができるまち
- ごみステーションがどこもきれいで、すがすがしいまち

(2) 幌西地区の「気になるところ」

まちの情報を受け取りにくい

- 幌西地区は広いので、良く知らないところが多い
- 町内会の担い手不足は、取り組みが伝わっていないことも原因の一つ
- 町内会では、情報を伝えるために必要なツール・手段が不足している
- まちのホームページが無い
- まちの情報をどこで得られるかがわからない

子どもの姿をまちなかで見かけなくなった

- 子どもや子育て世帯が、外遊びやお祭りに加わりにくいのでは
- 公園で遊ぶとうるさいと苦情が出ることも増えている
- 公園の禁止事項が多く、遊びにくい

人とのつながりが薄まっている

- 町内会の担い手が不足している
- 高齢者と子どもの交流を増やしたい
- 新たな転入者、マンション居住者への声掛けがしにくい

地域や学校、事業者とのつながりが不足している

- 学校とのつながりをより強くしたい
- 地域に高齢者・障がい者・子育てに関わる施設やNPOなどの団体があるが、連携が薄い

交流の場所や機会がもっとあると良い

- 誰もが自宅から歩いて行ける範囲で、健康づくりの会場などがあると良い
- 現在の会場が手狭になってきている。もう少し広い交流場所があると良い

町内会や安全安心の取り組みへの参加が減っている

- 人口が増え、安全安心の取り組みが必要だが、担い手が減っている



(3) 幌西の未来につながる「5つのキーワード」

つながり・交流・居場所

- あいさつできる関係、顔見知りと声掛け合えるまち
- 若い世代が多世代とつながるまち
- 築いた関係を大切につなぐまち
- 多世代が互いに学び合えるまち
- 多世代が共通の趣味を楽しめるまち

情報

- 若い世代にもっと情報を伝えていくまち
- 各世代の情報を交換して、まちで活かすまち
- 地区のホームページを設置し、情報を活かすまち

子育て

- 安心して子育てができるまち
- 子どもの遊びやすい場所がたくさんあるまち
- 地域の大人が子どもたちと交流できるまち
- 幌西を出た若者が、子育てのために帰ってきたくなるまち

安全安心、見守り

- 見守りを通じて、多様なつながりが生まれるまち
- ゆるやかな見守りが充実しているまち
- 現在、充実している防災・防犯活動が継続されるまち
- 障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち
- 定年後も、ずっと元気で暮らせるまち

まちづくりへの参加

- 地域のお祭りを盛り上げて、参加してもらい、つなげていけるまち
- 町内会などの取り組みに、若い世代が参加しやすい機会や場を増やすまち
- 取り組み内容や仕組みなど、参加しやすい仕組みも常に考えるまち



5 幌西地区の未来像と未来につなげる5つの目標

「幌西の未来につなげるワークショップ」で出された意見を元に、今後の幌西地区連合町内会のまちづくり活動を行う上での指針となる、幌西地区の未来像とその実現につなげるための5つの目標を設定しました。

(1) 幌西地区の未来像と未来につなげる5つの目標

幌西地区の未来像

さまざまなひとが活躍し 日々の暮らしを楽しむまち・幌西

～つながりを生かしたまちづくりへ～

幌西地区は教育環境が充実し、子育て世代・子どもの人口が多いまちです。地区内には学童保育や障がい者支援施設、高齢者福祉施設も多く存在しています。

幌西地区連合町内会では、これまでに行ってきた取り組みを活かしながら、幌西に住む・働く・訪れるさまざまな方々との交流を育み、日々の暮らしを楽しみ、誰もが安心安全に暮らせるまちづくりを目指していきます。

幌西地区の未来につなげる5つの目標

1 さまざまな交流からつながりを育むまちづくり

2 情報の受発信でつながるまちづくり

3 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

4 誰もが安全安心・元気に暮らせるまちづくり

5 誰もが活躍したくなるまちづくり

(2) 5つの目標の考え方とまちづくりのアイデア

5つの目標の基本的な考え方を以下にまとめました。それぞれの目標を達成するための取り組み案として、ワークショップ参加者の皆さんから寄せられた、主な「まちづくりアイデア」を整理しています。

1 さまざまな交流からつながりを育むまちづくり

さまざまな人、さまざまなテーマで交流を楽しむ取り組みを行い、幌西への関心やまちとのつながりを育て、地域課題が発掘され、新たなまちづくり活動が生まれるきっかけを増やしていきます。



主なまちづくりアイデア

- 何気なく、くつろいで過ごせるまちづくりカフェなどの居場所をつくる
- 出会いから、支え合いや新たな取り組みが生まれる井戸端会議場をつくる
- 高齢者・子どものコラボ、障がいの有無にかかわらず交流企画を実施する
- ペットカフェ等「テーマ型」イベントや集いの場や運営の仕組みをつくる

2 情報の受発信でつながるまちづくり

若い世代の協力を呼び掛け、ネット環境でまちの情報を受発信できる仕組みづくりを行います。また紙媒体も有効に活用するために、読みたくなる回覧板づくりや公園での子ども掲示板の設置など見てもらう工夫を検討します。



主なまちづくりアイデア

- 若者の協力を呼び掛け、公式 SNS やホームページを設置、動画を作成する
- 情報発信ボランティアや、行事ごとにサポーターを募集（大学連携、生徒・児童、子どもの保護者）する
- 情報受発信のお手伝いをきっかけに、若者や子育て世代とのつながりを育む

3 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

子どもが地域の大人と安心して挨拶し合えるまちを目指し、学校や地域の事業者と連携しながら、子どもや子育て世代が行事等に参加したくなる運営や周知を工夫し、多世代交流による学び合い・支え合える機会を増やします。



主なまちづくりアイデア

- 地域の大人が子どもを見守り、保護者も安心できる遊びの場・機会を増やす
- 親子、若者に向けた「まちづくりポイント制度」などで参加を促進する
- 子育て世代を支える「イクメンクラブ」や「遊び塾」、地域の店舗と連携した「幌西はじめてのおつかい」等の企画を実施する

4 誰もが安全安心・元気に暮らせるまちづくり

安全安心・見守り・健康づくりの取り組みが今後も継続され、充実したものとなるように、地域の誰もが楽しく・楽に取り組みに参加できる仕組みを検討し、実践していきます。



主なまちづくりアイデア

- 働き盛り世代が参加しやすい方法・時間帯など運営を工夫する
- 交流の楽しみと合わせ、子ども・若者と一緒に交通安全・見守りを行う
- 地域の事業者・団体と連携し、健康づくりの取り組みを検討する

5 誰もが活躍したくなるまちづくり

子ども、若者・子育て世代、働き盛り世代、町内会第2世代ともいえる60～70代の参加促進を目指して、参加の意義やメリット、やりがいを実感でき、地域で活躍したくなる仕組みづくりを検討します。



主なまちづくりアイデア

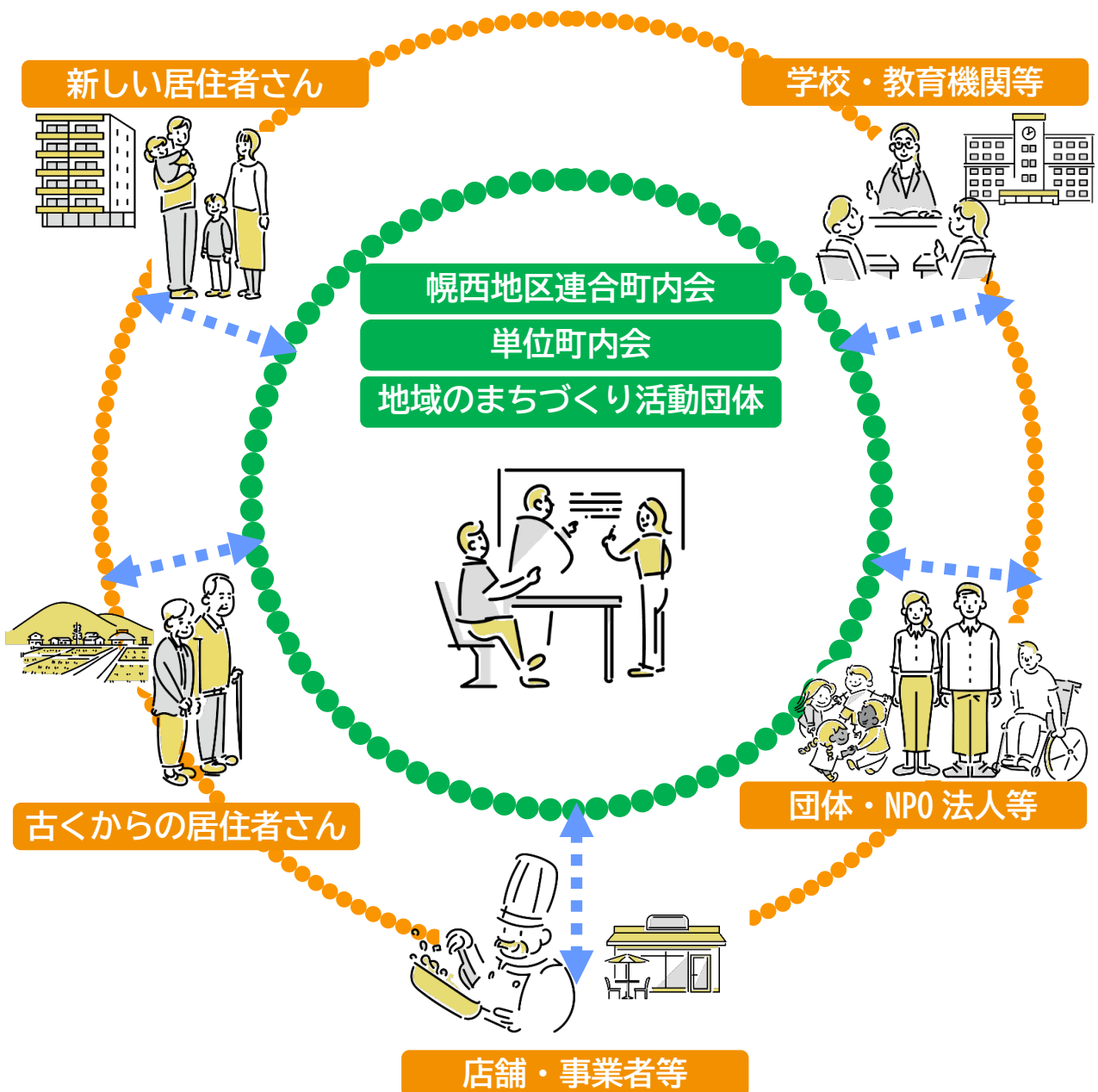
- 町内会活動へのお試し参加やお手伝い参加など、参加の敷居を下げる
- 若い世代が「まちの人たちの役に立った」と実感できる機会にする
- まちづくりスタンプラリーや参加ポイントカードによる副賞で参加のきっかけをつくり、関心を寄せてもらう
- やりたい人にやりたいことを好きにやってもらう、若者が主役のブースを設置するなど



6 ビジョンを実現するためのつながりづくり

幌西地区連合町内会では、ビジョンの実現に向けて、さまざまな方々と共に取り組んでいく必要があると考えています。

私たち幌西地区連合町内会や、単位町内会、地域のまちづくり活動団体（幌西地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員など）の皆さん、そして学校・教育機関や地域の店舗・事業者・団体の皆さん、そして取り組みに「面白そう」と関心をもってくださる方、趣味や特技をもつ方、学生・児童の皆さん…など、団体や個人問わず、さまざまな方々とのつながりを増やしなから、ビジョン実現に向けたまちづくりに取り組んでいきます。



●資料編●

「幌西の未来につなげるワークショップ」各回の主な意見

ご参加いただいた皆さま、貴重なご意見をたくさんいただきました。
ありがとうございました！！

第1回意見交換会「話そう！幌西地区の思い出・いま・未来」

幌西地区の良いところ

市電があり、お店がある利便性と魅力のあるまち

- 昔ながらのお店、お菓子・食パン専門店、チキンの店…
- 市電があって便利なまち
- 自転車や徒歩で移動しやすいまち

街並みがきれいで、閑静なまち

- 街路樹や住宅の植木や庭がきれい
- 個性的な住宅が多く見て楽しめる
- 「よいところに住んでいるね」と言われる
- 通りすがりでもまちの住みやすさを感じる
- 公園が多い。自転車公園は紅葉がきれい
- 静かで落ち着いている

子育ての環境が良く、子どもたちが見守られているまち

- 子どもがのびのびしている
- 自分から挨拶をしてくれる子どもが多い
- 子育ての施設・環境の選択肢が多い
- 家庭や学校での教育が行き届いている
- 地域と学校による「子どもの集い」に100人が参加する
- 学童保育でむかし遊びを教えてくれる
- 目が不自由な子どもたちの手助けが細やか

人が声を掛け・受け入れてくれるまち

- まちに受け入れられている感じがする
- 活動的な人が多い
- 挨拶や声を掛けてくれる人が多い
- ものをわきまえている雰囲気の人が多い
- 変化を受け入れる度量がある
- これからも変化していく、可能性のあるまち

地縁が豊かでまちづくり活動が活発なまち

- 地縁が深く、町内会活動が活発
- つながり感、チーム感が強い
- 札幌まつりの祭典区がある。子ども神輿をこれからも大事にしたい！
- まちの盆踊りや、大運動会が開催されている
- 公園での健康づくり活動が盛ん

安心、安全に暮らせるまち

- 治安が良く、安心して住むことができる
- まちづくり活動が充実しており、今とても住みやすい
- ごみステーションがどこもきれい

幌西地区の気になるところ

まちの魅力や情報の発信が少ない

- 幌西は広いので知らないことが多い
- 町内会の担い手不足の原因は「役割が伝わらず、伝えられず、知られていない」面も
⇨若者は町内会に興味がない
- 「伝えるためのアクション」に何が必要かわからない
- 連合町内会のウェブサイトがない、つくるほうがよい
- 幌西地区の情報があまり伝わってこない、どこを見たら良いかわからない

子どもの姿をまちなかで見かけなくなった

- 子どもがゲーム、スマホ、塾など外遊びの時間が少ない
- 子どもの外遊びやお祭り等への参加を親御さんが避ける場合もあるのでは
- 子どもが公園で遊ぶとうるさいと苦情が出ることもある
- 公園も禁止事項が多い。遊びにくいのかもしれない

地域と学校のつながりを増やしたい

- 学校とのつながりをより強くしたい
→気軽に学校にも声を掛けてください！
- 避難所の使い方を共有したい
→幌西小と伏見中合同で5年前から防災訓練実施中

人とのつながりが減ってきている

- 町内会の担い手が不足している
- 若い世代とのつながりが減っている
- 高齢者と子どもの交流を増やしたい
- マンション居住者の行事参加が少なく、声掛けもしにくい
- 進学や就職で道外に出る若者が多い
- コロナの影響でなんとなく活気がない

交流の「場」や機会がもっとあると良い

- 健康づくりなどに使える会場が少ない
- 地区内の事業者さんに場所の提供を相談したら了承いただいたところもある
- 誰もが自宅から歩いて行ける範囲で、健康づくりの会場などがあると良い

町内会や安全安心の取り組みへの参加が減っている

- 人口が増え、安全安心の取り組み、高齢者・子どもの見守りなどやることは多いが、担い手が不足している
- 防犯や防災を呼び掛けるきっかけが減った
- 交通マナーが悪い（歩行者・自転車・車）



幌西地区の未来～10年後も住みたい・すごしたいまち

つながり・交流・居場所

- あいさつできる顔見知りの多い、声掛けできるまち
- 常に新しい世代がまちとつながるまち
- 築いた関係を大切につなぐまち
- 学校と地域のつながりが深いまち
- 人が集まり、話し、つながりを生む場所を増やしたい
- 高齢者が若者に新しいことを教わり、若者が高齢者から地域の歴史や文化、知恵を学ぶまち
- 世代にかかわらず共通の趣味を楽しめるまち
- 歩いて行ける範囲で、集いや健康づくりの場のあるまち
- 「ぴあのぴあの」カフェ&スタジオがよい雰囲気

情報

- 若い人に情報を届けたい
- 各世代の情報を交換してまちで活かしたい
- 地区のホームページを活かしたい
 - ・第15分区町内会のHPはすごい！
 - ・回覧板、掲示板をもっと活用+ホームページを運用
 - ・情報発信できる人を巻き込みたい

子育て

- 安心して子育てができるまち
- 子どもが遊びやすい場所がたくさんあるまち
- 子どもたちと交流できるまち
- 幌西を出た若者が、子育てのために帰ってくるまち
- 学びの機会があるまち（塾に行ける・行けないで差がつかない）

安全安心、見守り

- 見守りを通じて、さまざまなつながりをつくる
- ゆるやかな見守りを充実させたい
- 防災・防犯活動を継続していきたい
- 障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせるまち
- 定年後も、ずっと元気でくらせるまち

まちづくりへの参加

- 地域のお祭りを盛り上げ、つないでいきたい
- まちの取り組みや町内会など、若い世代が参加しやすい機会や場を増やす
- 取り組みの見直し（楽な進め方・ニーズの検証）も必要



第2回意見交換会

語ろう！50周年から始まる幌西の未来につながる取り組みアイデア

やってみてダメだったら、考えなおそう！
コロナ禍でもイキイキ過ごせる交流を考えよう！
若い世代のアイデア・力を借り、縁を育もう！

つながり・交流・居場所

さまざまな人がくつろげるたまり場づくり

- 多世代、さまざまな人が集まり、ともに過ごす共生の場や機会
- 困っているときに助け合える「地域食堂」
- 居場所となるようなカフェ（何気なく／テーマ別）
- 高齢者（特に単身）の通いやすい交流スペース
- 若い世代の気軽な参加の入り口になると良い
- WS 参加者である児童会館、幌西ほうおん園、北海道札幌視覚支援学校の皆さんをはじめ、地域の団体・事業者との連携
- 【課題】実施場所、空き家などの活用検討、会場費の補助、人が集まる仕組みや仕掛け

おしゃべりから取り組みが生まれる場づくり

- 顔見知りから知り合いになり、意見を交わし、できることをやってみる「井戸端会議」の場
- 新たな住民への声掛け、マンション居住者とのつながりを増やす
- ちょっとした困りごとの助け合いができるとうい

多世代交流の取り組みづくり

- 今ある企画を元に、ニーズに合う内容を検討、工夫する
- まちの集いには子どもが、子どものイベントには大人が参加する
- 子育てサロンと高齢者サロンのコラボで互いに支え合う

つながり・交流を育むイベントづくり

- 公園での町内バーベキューパーティー
- 幌西地区の飲食店はしごイベント
- 幌西に多い菜園・庭の作物を販売、交換する家庭菜園マーケット
- 市電の貸切電車で、地域の大人による子どもへの幌西のまち教室
- ネコカフェなどペットカフェ。SNS でさらに交流を生む

情報

読みたくなる回覧板、掲示板づくり

- 回覧板に自由意見欄を設け、やりとりができるようにする
- 公園に子ども向け掲示板を設置。子が親に情報を伝えてくれる

若い世代と協力して、インターネットで情報を発信する

- 若い世代の協力を得て、若者のニーズを知り、関心を惹く
- まちのインターネット掲示板をつくる
- 連町ホームページや SNS を開設する

- 梶西ローカル動画の作成、Youtube、TikTok 等で発信
- Twitter、Instagram など SNS の活用、インフルエンサーとのコラボ
- ネットが苦手な人向けの勉強会を開催する
- テレビのDボタンや、ケーブルテレビの活用は？

→もっと発信していきたい内容

- 町内会行事ごとに参加を呼び掛け、サポーターを募集する
- 地域の困り事を伝え、できる助け合いや知恵を交換する
- まちの魅力やおいしいものなど、楽しい情報を伝える
- 町内会活動や地域の課題（高齢化、担い手不足等）
- 地域の防災や防犯情報

子育て

子ども・子育て世帯への効果的な声掛け

- 学校と連携した声掛けや企画の実施
- 子どもが大人ともっと安心して挨拶できるまちへ

自由な遊びができるたまり場づくり

- 何もない場所で遊びをつくれる場所づくり
- 自転車公園の活用

子ども・子育て世帯との交流を育むイベントづくり

- お店や事業者とコラボした「はじめてのおつかい」
- お父さんたちの交流会「イクメンクラブ」の実施
- 「遊び」を教えて合う「遊び塾」
- スケボー教室、イベント
- 小学校で太鼓の練習

安全安心・見守り

現在の活動が充実しているので、
新しい取り組みを増やすより、続ける・見直す工夫を検討

多世代が参加したくなる運営・仕組みづくり

- 楽で楽しみのある見守り、安全・安心の取り組み
- 世代に合う活動時間の設定や仕組みの検討

→今後より人手が必要になる取り組み

- 単身高齢者さんの見守り
- マンション居住者の高齢化対策
- 子どもの通学時の見守り
- 夜回りパトロール

まちづくりへの参加

若者・子育て世代の参加を増やすきっかけづくり

- 若い人たちのまちづくりへの考え方やニーズを知る
- 町内会やその取り組みを、興味を惹くように伝える

- 若者主催企画、ブースを設けて好きにやってもらう
- 若い世代が「人の役に立てた」と実感できる機会にする
- 子どもが参加する町内運動会への子育て世代の参画
- 取り組みに参加した学生に、食事でお礼し交流を楽しむ

参加のハードルを下げる企画・仕組みづくり

- ちょっとしたお手伝いに参加しやすくする
- 町内会活動へのお試し参加の仕組みをつくる
- 参加をきっかけにして、地域や町内会との関係を育む
- 働き盛り世代が町内会に携わりやすくする仕組みの検討
- 町内会第2世代（60～70代）への声掛け・参加を促す

参加したくなるごほうびの仕組み（インセンティブ）づくり

- 地域店舗と協力したスタンプラリー
- 地域通貨やポイント制度
- 図書カードでの参加お礼
- ごほうびと同時に参加の意義を伝えることが大切

マンション居住者との交流を育む取り組み

- セキュリティが高く、チラシ配布・声掛けがしにくい
- 取り組みを知ってもらうことが必要
- 居住者の高齢化が進む前に、関係づくりが必要



第3回意見交換会 創ろう！幌西の未来につながる企画案

Aグループ

親子・高齢者・新たな住民との交流のきっかけづくり

取り組み内容

単位町内会が取り組んでいるイベントに、連合町内会が協力することで、さまざまな人が交流できるきっかけをつくる。

1) 文化祭の再開、新たな文化祭の検討をする

- 大人も子どもも、特技や歌・音楽、料理などを披露する
- プログラムの配分などを工夫する



2) 地域情報発信ボランティアを募集、広報部づくりにつなげる

- ホームページ、案内チラシ、回覧（メッセージが記入できる）
- 案内チラシ等、カラーの紙媒体を学校に配る
→年数回定期的に配り、閲覧者を増やし定着させる
- 広報目的だけでなく、取り組み活性化・負担軽減に向けて、単位町内会同士の情報交換の場・機会が必要

参加対象

- 子ども、子育て世帯、新たな居住者、高齢者

必要なもの・こと・ひと

2) 地域情報発信ボランティアを募集、広報部づくりにつなげる

- 複合機・パソコン
- 記事を書く人、情報発信する人を集める
 - ・新聞社、広告代理店、IT系に勤めている方
 - ・情報発信などに関心・興味のある方
 - ・第15分区単位町内会ホームページの発信は良い
 - ・単町の広報担当者、地域内の団体、学生、子どもグループ
 - ・連町運動会の撮影などで協力を求めることからスタート
 - ・先生に負担がかからず参加してもらえる仕組みを検討
 - ・学校と連携した大学生の参加の仕組みづくり（単位取得がメリット）
 - ・単位町内会同士の情報交換の場づくり

Bグループ

とにかくやってみる！共生の場づくりプロジェクト

～顔見知りになり、地域で助け合える間柄を育む～

取り組み内容

多世代、さまざまな人が交流できる場を開く

- 集まりやすい広い場所があると良い
- 場所の使い方や、所有者（空き家・地域の事業者等）との連携を検討する

参加対象

- 多世代（イベントのテーマによって、ターゲットを絞る場合もある）



必要なもの・こと・ひと

- 集会できる場所（幌西会館より広く、子どもが自由に遊べると良い）
- 共生の場に人が集まる仕組みやテーマを検討すること
- 参加する動機、きっかけ、参加するメリット
- 運営に関わる人、企画づくりに関わる人、参加する人

Cグループ

みんなが眺めたくなる回覧板づくり

取り組み内容

ホームページも良いが、今なじみのある回覧板を見てもらえるようにする工夫がもっと必要

- 自分ごとに感じられる単位町内会やごみ・清掃・除排雪などの情報を意識的に掲載する
- 表紙に見出し（インデックス）を付けて、辞書のように見たいところにたどり着けられるようにする
- イラストなどで、親近感がわく見せ方をする



参加対象

- 町内会に加入する全世帯。特に回覧板をあまり見ない若い世代に読んでほしい

必要なもの・こと・ひと

- 出来る工夫から小さく始める。焦らないでじっくり続けていくことが重要
- 手の込んだものをつくらない。手作り感で親近感がわくほうが良い
- パソコンがなくても、使えなくてもできる紙面づくりも検討
- 単位町内会・連合町内会の動きも付け、地区全体の情報がわかるようにする
- インターネットで意見や情報を受け付けられる仕組みを設ける。回覧板に掲載することで、意見や問い合わせ、情報交換がしやすくなる。回覧板に直接書くのは気が引ける人も多いと思う
- 単町会長から住民に向けて「今年も皆さんありがとう」など手書きのメッセージを掲載すると親近感が増す

Dグループ

つながり・交流を生む仕組みづくり！

とにかく楽しさ、ワクワク感がある取り組みが良い。参加対象は「興味のある好きな『こと』」で年齢ではない。おらかな人材と集まりやすい敷居の低い場所が必要。

1) 高齢者と児童の交流会

取り組み内容

- 高齢者と児童の交流会を開く

参加対象

- 限定なし

必要なもの・こと・ひと

- 高齢者と児童との接点づくり
- 民生委員・児童委員やママ友つながりとの連携
- 子育てサロンとの連携
- 若い世代も楽しめるパークゴルフで接点づくり



2) ペットカフェ・交流会

取り組み内容

- 公園などに集まりカフェ設置、おしゃべり
- 動物の動画撮影。後日編集・発信・共有
- 動物の写真を撮影し、町内で共有、回覧してまちに関心をもってもらう
- 公園など会場の清掃

参加対象

- ペットを飼っている人、家族連れ、動物が好きだけれど飼えない人など

必要なもの・こと・ひと

- リーダーを見つけること、ボランティアができる人を集めること
- 連合町内会でボランティア募集情報を発信する

3) 町内文化祭の再開

取り組み内容

- 文化祭はコロナ禍のため2年間開催されていない
- 小中高校生の合唱・楽器、シニア層のヨガ、フラダンス、サークルなど

参加対象

- 児童・学生・高齢者・サークルなど多世代

必要なもの・こと・ひと

- 地区センターで実施したい

4) 高齢者レクリエーション

取り組み内容

- 日帰り温泉

- 会館レクリエーション（運動・ゲーム・麻雀・トランプ・おしゃべり）

参加対象

- 60歳以上。年齢を決めるとターゲットが明確
- 「単身」や「高齢者」という言葉で参加しにくい人もいると思う

必要なもの・こと・ひと

- 日帰り温泉：マイクロバス
- 会館レクリエーション
 - ・老人クラブと町内会の一層の連携
 - ・憩いの場だけでなく、定期的に近所で会える仕組みをもつ

5) 回覧板の課題

取り組み内容

- 目的によって回覧板だけでなく、戸別ポスティングも検討
- 参加型回覧板（自由記載欄、何か必要な情報を交換できるコーナーの設置など）をつくる

